

ネットワーク認証クライアントアプリ“ SmartSignOn for eFEREC”をバージョンアップ

エンドポイントアクセス管理装置 eFEREC 専用。 iOS/iPadOS の最新版

GIGA スクールに向けアップル M1 Mac にも対応 (Chrome OS 対応も準備中)

ネットワーク関連製品の企画・開発、販売を行う株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、同社のエンドポイントアクセス管理装置 eFEREC（イーフェレック）専用のネットワーク認証クライアントアプリ「SmartSignOn for eFEREC」（スマートサインオン for eFEREC。略称：SSO4eF）iOS/iPadOS 版をバージョンアップし、アップル M1 チップ搭載 Mac (M1 Mac) 対応版を 5 月 11 日より正式提供を開始します。本 SmartSignOn for eFEREC アプリ iOS/iPadOS 版 (V0.9.3) は、App Store から無償で入手可能です。現在 Android 版を含めてほとんどのモバイル端末において SSO4eF アプリが利用可能です。また、GIGA スクール向けに Chrome OS 対応版も提供予定です。

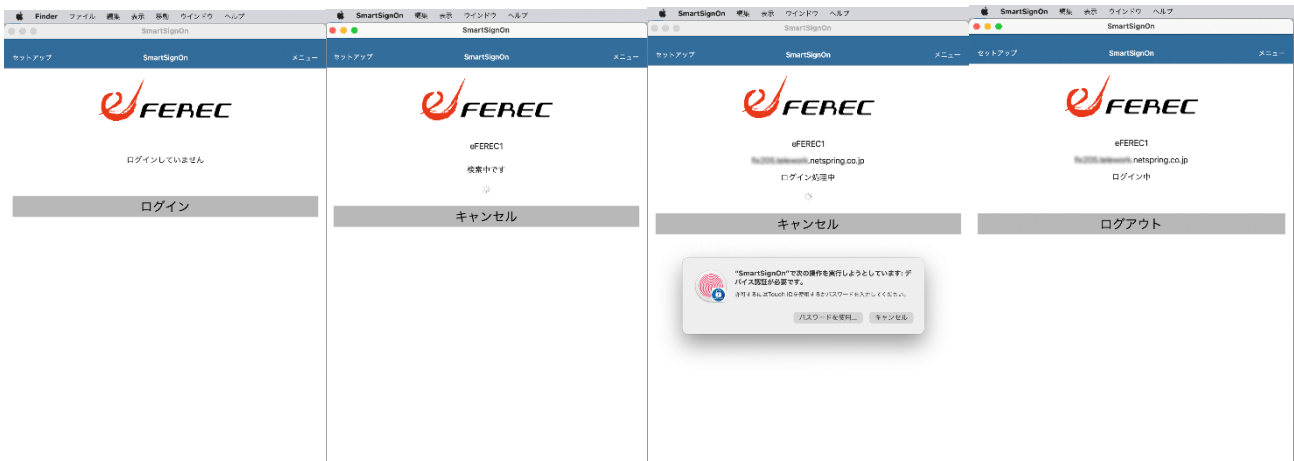
SmartSignOn for eFEREC (iOS 版・Android 版) は、スマートデバイスで WiFi アクセスポイントから簡単にネットワーク接続を可能にするクライアントアプリで、デバイス内に事前設定されたユーザーID およびパスワードを利用してワンタッチで eFEREC の Web 認証を受けられるものです。スマートデバイスでのユーザーID やパスワードの入力の煩雑さを解消し、移動中においても容易に eFEREC にログインすることが可能です。

さらに今回の SSO4eF v0.9.3 版では、アップルの Touch ID の認証(指紋・顔・PIN)機能を利用してワンタッチでの認証機能も提供しており、利便性と共に安全性を高めることが可能です。また、eFEREC の管理者設定においてスマートデバイスからの認証時にデバイス認証機能を必須化することも可能としています。



SmartSignOn
for eFEREC
アイコン

<SSO4eF アプリのスクリーンショット (M1 Mac 環境の macOS 上) >



i) アプリ起動時

ii) ログインボタン押下

iii) デバイス認証

iv) ログイン成功

iii)において、Touch ID、Face ID やパスコード認証のいずれかで成功するとログイン成功になります。また、自動ログインを設定した場合は、アプリ起動後直ちにiii)の処理でデバイス認証することが可能となります。

【SmartSignOn for eFEREC iOS/iPadOS 版 V0.9.3 の動作環境】

- ・ iOS 12.0 以降および iPadOS 13.1 以降
- ・ M1 チップ搭載の macOS Big Sur 以降
- ・ eFEREC v1.2 以降

【SmartSignOn for eFEREC の基本機能 < iOS/iPadOS 版 (Android 版共通) > 機能】

- ・ eFEREC 認証時のワンタッチによるログオン、ログオフ
 - 事前のユーザーID およびパスワード登録
 - 自動ログイン有効化
- ・ デバイス認証機能
 - ◇ Touch ID(指紋認証)、Face ID(顔認証)、パスコード (PIN コード)認証可能
 - ◇ ログオン時にデバイス認証の有効・無効化設定可能
 - ◇ ワンタッチによる認証も可能
- ・ eFEREC 自動検出用ホスト設定
- ・ 無線アクセスポイント接続先(SSID 関連付け)設定
- ・ 日英環境対応
- ・ eFEREC v1.2 以降対応 (旧 FEREC シリーズ非対応)
(注) v1.2 の新機能 SAML オプション機能非対応

【SmartSignOn for eFEREC iOS/iPadOS 版提供形態】

- ・ オンラインダウンロードによる無償提供
- ・ App Store からダウンロード提供 (下記 URL 参照)
<https://itunes.apple.com/jp/app/id1488568636?mt=8>

■ネットワークエンドポイントアクセス管理装置「eFEREC」について

eFEREC は、ネットワーク内部からのアクセスを個別に認証・管理し、不正アクセスなどによる情報漏えいを防止するアプライアンス機器

FEREC (旧) のコンセプトを元に、オンプレミスとクラウドのハイブリッ

ドなネットワークなど、新しいネットワークの時代に適合するように新規に開発されたエンドポイントアクセス管理装置です。基本機能として提供される認証ゲートウェイは、利用者に端末上で Web ブラウザを起動すると強制的に表示される認証画面でユーザー名とパスワードを入力することにより実現しています。新しい eFEREC では複数の VLAN をハンドリングすることが可能で、VLAN パススルー機能や AUP(利用規定)の承認ステップを容易に追加することが可能となっています。また、eFEREC v1.2 では SAML オプション機能が追加実装されており Shibboleth 等による SSO が可能となっています。また、最新の eFEREC v1.3 では、NAPT 機能 (DNS/DHCP 機能)を実装し、旧 FEREC シリーズから eFEREC シリーズへの移行が容易になりました。

(旧) FEREC シリーズでは、2003 年 2 月の販売開始以来、大学、高等専門学校などをはじめとする学術機関を中心に、医療機関や公共機関などでも、運用管理が容易で“現場で継続的に使える製品”として好評を得てきました。全国の国公立をはじめ私立を含む大学、高等専門学校を含めて 100 以上の大学・学部・センターに導入されており、一般企業においても工場等での導入事例が多くあります。

eFEREC 製品専用 Web サイト：<http://www.eferec.jp>



■株式会社ネットスプリングについて

ネットスプリングは広島大学の学内向けのネットワーク認証ソフトウェアを元に LAN アクセス管理アプリケーション「FEREC」（旧 FEREC シリーズ）を開発し 2003 年 2 月に販売を開始。2011 年 3 月時点で日本国内の大学セグメントにおいて導入率 15%を超えるまでに浸透しています。2006 年末には、ネットワーク認証のオープン化や統合化への要望と、ID 管理として LDAP ベースの認証サーバーへのニーズに応え、オールインワンの認証サーバーアプリケーション「AXIOLE」を発売。機能拡張を継続し、近年では Shibboleth の IdP への対応が強化され、また仮想アプリケーション版、クラウド対応版 (Azure 版や AWS 版) など対応プラットフォームを充実させており、現在の主力製品となっています。

●主な製品シリーズ

- ・ AXIOLE (LDAP/RADIUS ネットワーク認証サーバーアプリケーション)
AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>
- ・ eFEREC (エンドポイントネットワークアクセス管理装置)
eFEREC 製品専用サイト：<http://www.eferec.jp/>
- ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプリケーション)
SSOcube 製品専用サイト：<http://www.SSOcube.jp/>
- ・ SmartSignOn for eFEREC (スマートサインオン SSO4eF 専用サイト)
iPhone/iPad 版：<https://eferec.smartsignon.jp/i/>
Android 版：<https://eferec.smartsignon.jp/a/>

●会社概要

- ・ 本社所在地：東京都港区三田 3-9-7 三田 JEBL. 8F
- ・ 代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・ 設立：2000 年 3 月
- ・ 資本金：2,000 万円
- ・ 事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
- ・ URL：<http://www.netspring.co.jp/>

※eFEREC・SmartSignOn・AXIOLE は株式会社ネットスプリングの登録商標です。

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先：

株式会社ネットスプリング マーケティング部
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp